

しだれ桜のつくるしだれ空間



A2
人→枝→木全体
枝が人と木をつなぐ



A1
枝先が手に届く
枝垂れ桜

「しだれ」
人よりも大きい存在が
枝を垂れることで、
大きいもの
と小さいものとの
スケール的な
繋がりを生むもの。

A0
B0
B1

B2
軒が人と家とをつなぐ



人→軒→家全体
軒が人と家とをつなぐ



家の軒下のしだれ空間

日本には様々な桜があれど、福島県の三春滝桜・東京都六義園のしだれ桜。京都府円山公園のしだれ桜をはじめその一本が立っていることで人々を感動させる桜はしだれ桜であろう。

それは、その優雅さや巨大さもさることながら、

その枝が、しだれることで、それを見上げる私たちのもとへ降りてくる、

それによって、桜と握手ができるような

そんな「身近さ」と「雄大さ」の共存した姿が、私たちを惹きつけているのではないだろうか。

